

第49回滋賀県芸術文化祭 第69回滋賀県文学祭 ‹‹入賞者一覧››

小説

賞	題名	氏名（筆名）	住所	副賞
芸術文化祭賞	ピッケル	阪本 博史	湖南市	
特選	邂逅	釈 進	高島市	びわ湖芸術文化財団理事長賞
特選	定家の日記	潮田 真結実	米原市	
特選	炎城	竹内 宇瑠栖	守山市	共同通信社賞
特選	薄鈍の箱	山口 一	彦根市	
特選	山鳩	沖 達也	大津市	
特選	街道（가도）	中川 法夫	守山市	
特選	悲しい王子	谷口 俊明	大津市	

随筆

賞	題名	氏名（筆名）	住所	副賞
芸術文化祭賞	香りから	山森 ふさ子	大津市	
特選	「茗荷」の極み	上野 初子	犬上郡甲良町	滋賀県議会議長賞
特選	八十八歳のリフォームは・・・	松本 佐知子	甲賀市	NHK大津放送局長賞
特選	東京ドーム球場にて	黒川 一美	甲賀市	
特選	父からのハガキ	橋本 鈴子	蒲生郡日野町	
特選	御利益の中身	谷口 恵美子	長浜市	
特選	窓を開ければ	寺井 一二三	草津市	
特選	憧れ	安部 潤子	甲賀市	

詩

賞	題名	氏名（筆名）	住所	副賞
芸術文化祭賞	内臓	梶谷 佳弘	守山市	
特選	百色の色鉛筆	谷口 明美	彦根市	BBCびわ湖放送賞
特選	わたしは天井である	成田 あかり	湖南市	
特選	ひな	水沢 郁	彦根市	京都新聞賞
特選	たからもの	古橋 童子	長浜市	
特選	同窓会	島田 照世	大津市	

作詞

賞	題名	氏名（筆名）	住所	副賞
芸術文化祭賞	さくらネコ	叶 恋	蒲生郡日野町	
特選	オノマトペ	高山 清子	長浜市	朝日新聞社賞

短歌

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	ぶらんこのトップのひと蹴りひらく胸をさなの髪は風とつながる 八人の百人一首の散らし取りメダカのやうに泳ぐ児童(こ)らの手 ハンモックにぎうと抱かれてほぐれゆくストレスはふふ風溶性らし	太田 澄子	甲賀市	
特選	通り雨街を抜けたり新しき思ひを加へ来るひとを待つ 一本の杭にとまりて秋送る蜻蛉を写し満ちてある沼 広がらぬころを氣にかけ花残る今年の枝を深く剪り込む	幅尾 茂隆	甲賀市	中日新聞社賞
特選	不器用な人生だったと七十路に初めて孫を賜る余生 大の字に夏座布団に孫眠る宇宙の旅を終えたるごとく 雨粒に茅の輪の匂いふくらみて初孫生れしが実感となる	小倉 文枝	長浜市	時事通信社賞
特選	七才の別れ惜みて泣いた日よ父に赤紙来た日のことを 故郷を思いつ夜学の仄明り満天の星迎ぎし青春 カタカナと漢字で短かき遺言状父の二倍も生きて詩よむ	宮崎 正子	大津市	毎日新聞社賞
特選	大化より令和と時が移り来て大津宮の跡地に立ちぬ 去ぬといふ今は廃れしこの言葉富田人形浄瑠璃語り いにしへに栄えし堅田居初家(いそめけ)の茶室に入りて三上をながむ	三宅 勝嘉	甲賀市	
特選	胎内の夢の続きを見るやうにほほ笑み浮かべ赤子眠れり 妹に母をゆづりし二歳児は「姉」とふ花の冠を受く 四世代つどひし里の盂蘭盆に令和生まれの泣き声たかし	村林 悦子	近江八幡市	
特選	くじ取らず西行桜狸山いざ巡行の先導やせむ 「ほつてー」の声せし方(ほう)に囃子方(がた)抛り投げたる厄除け粽 辻々に紅殻格子残りをる曳山町の秋のゆふぐれ	船岡 房公	大津市	
特選	新ジャガと茄子の取れたて車にて子らに届ける日曜の妻 梅雨となり耀よふ茄子のむらさきに頬笑む妻を少し誉めたり 夏来たり茄子の浅づけ旨くなる自家栽培の妻の一品	東 俊行	大津市	
特選	集落の涯となりたるふる里に草刈る兄のエンジン唸る 爪鋭きアライグマらし大き洞のスイカ赤あか無残を曝す 開け放つ仏間に風の吹き渡り穂波清かに素麺する	銭谷 ふさ子	大津市	
特選	春を待つ近江野に出で試歩すれば麻痺の右脚踵に蹟く 夏草の深く茂れる無住寺を声明のごと蟬時雨裏(つつ)む 亡き母の知らぬ吾が老い吾が病脳溢血の麻痺のことなど	東 省三	栗東市	
特選	鶏足寺彩待つまでの静けさや会釈交わせし人遠ざかる 病室の窓を横切る鳥の群れ暮ゆく空を高く低くと 舞いあがり地を這う雪は湖北路を走る車の灯うばいて	林 多恵子	長浜市	

俳句

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	花火師の影濃く走る湖の間	石川 治子	大津市	
特選	蒙古斑追いかけている天花粉	山本 絹代	草津市	滋賀県教育委員会教育長賞
特選	活けられて風を失う秋桜	渡邊 君子	長浜市	KBS京都賞
特選	群れ入りて子等が広げる踊の輪	堀尾 晴美	野洲市	エフエム滋賀賞
特選	木洩れ日に豹柄となる白日傘	清水 徹	大津市	
特選	少年の目覚めし自我や青嵐	樋口 満智子	長浜市	
特選	風上へ野焼の炎逆立ちて	堀田 佳伸	長浜市	
特選	百日紅金平糖のごと散りぬ	村田 木綿	蒲生郡日野町	
特選	草笛の音色吸い込む凧の湖	木村 郁夫	野洲市	
特選	大試験終わりて空の広さ知る	桜井 雅子	野洲市	
特選	墓洗ひ小さき声でおかあさん	楨島 信子	長浜市	
特選	水槽に生年月日めだかの子	茂森 美代子	守山市	
特選	大空を星に返して花火終(お)ゆ	藤庭 みつ江	高島市	
特選	泣くことも言葉のひとつ天瓜粉	田中 みつを	甲賀市	

川柳

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	火曜日に会う火曜日が好きになる	上田 寿美	彦根市	
特選	最初から全部を好きにならないで	大橋 啓子	大津市	産経新聞社賞
特選	ふっと好きふたり並んでいるだけで	伊藤 こうか	練馬区	
特選	好きな物もう食べさせてあげましょう	北村 幸子	草津市	
特選	書いてます自分を好きになれるまで	金子 純子	大津市	
特選	遠い日の夏を横切る蟻である	山本 知佳子	京都市	

冠句

賞	作品	氏名(筆名)	住所	副賞
芸術文化祭賞	指定席 可否(かふ)なき日々の凭(もた)れあい	笠原 玲子	長浜市	
特選	貝眠る 藻屑となりし兵悼む	小野 寛	大津市	読売新聞社賞
特選	やわき芯 愛しき極み触れもせず	澤井 管子	蒲生郡竜王町	
特選	貝眠る 石(いし)光るまで孤独なり	北川 均	長浜市	
特選	貝眠る 抱き続けた愛ひとつ	新宮 うめの	京都市	
特選	やわき芯 穢れを持たぬ嬰の欠伸	北山 千鶴	京都市	